会 議 記 録			
会 議 の 名 称	議 会 運 営 委 員 会		会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木智
日 時	平成27年6月12日(金曜日)	開 議	午後 1 時 30 分
		閉 議	午後 2 時 30 分
出席委員	堤 藤本 小松 福井 湊 石野 田中 (委員外議員)菱田		
執行機関 出席者			
事務局 出席者	藤村局長、山内次長、鈴木係長、三宅主任、池永主任		
傍聴	可	市民 名	報道関係者 名
			議員 名()

会 議 の 概 要

〔堤委員長 開議〕

1 議会の活性化について

(1) 各会派の意見について

〔局長 概要説明〕

〔係長 詳細説明〕

<堤委員長>

別紙資料に基づき各会派からの意見を。その後に質疑をいただきたい。

【新清流会】(別紙資料 1 1~8)

<石野委員>

1 , 2 については、自治会以外、また幅広い層と意見交換できたらと考える。

3 , 4 については、委員会として出向いて開催できたらと考える。

5 については、視察に行った加賀市でも取り組んでいる。

6 については、第15期で議論したが引き続き取り組みたい。

7 については、議員団研修でも学んだことなので取り組みたい。

8 については、前期でも議論したが引き続き取り組みたい。

<藤本副委員長>

1 については、常任委員会の活動も含むのか。

2 については、どんな方法で考えているのか。

8 については、金額の増額はどの程度か。

<堤委員長>

1 については、私が提案した内容である。地元開催の議会報告会には行き辛い人も参加できるような広聴の場を市役所の市民ホールなどで実施できればと考える。

<石野委員>

2 については、成人を迎える人たちと意見交換できればと考える。

<福井委員>

1 については、広報広聴会議でも企画している。

3 については、委員会として実施するか、議運としても実施するか等も含めて検討したい。

5については、視察を実施した項目でもあり、全体で議論できればと考える。
8については、政務活動費を何にどこまで使えるのかを含めて検討したい。

【共産党議員団】(別紙資料 1 9~11)

<田中委員>

9については、インターネットを使えない人もいる。その人たちも含めて議会の広報媒体は議会だよりだけでよいのかを考える必要がある。具体的な手法はまだ議論していない。

10については、一般質問時間が答弁を含み45分では、答弁が長くなれば質問時間が限られてしまう。例えば質問時間を25分と決めるなどとして実施できないかを検討したい。

11については、国政の動向も早くなっており毎定例会ごとに代表質問により質問を実施していきたい。

<福井委員>

9について、議会だよりは全戸配布している。これを見ることができない人へ広報するための具体的な手法は考えているのか。視覚障害者の方の意見として、議会だよりの点字版があってもよいとの考えもある。

<田中委員>

視覚障害者の方のことを考えることは当然である。インターネットを見ることができない方がいることも含め、広報のあり方を検討できればと考える。具体的な策は持っていない。

<堤委員長>

10については、質問時間と答弁時間で45分にしないと、時間がずれる可能性が増える。傍聴者にとって不都合とならないか。

<田中委員>

基本的には全体の時間を長くする必要がある。会派の考えとしては、議員からの質問時間を25分で確保したい。答弁が長くなることで全体の質問時間が長くなり、議員からの質問時間が短くなることは検討をしなければならないと考える。

【緑風会】(別紙資料 1 12~13)

<湊委員>

12については、決算審査は特別委員会としているが、実際は分科会方式で常任委員会単位で審査している。これを隔年で議員が半数ずつに分かれて審査していくということで提案している。

13については、予算要求して議会だよりのページを増やすなど検討したい。

【公明党議員団】(別紙資料 1 14~18)

<藤本副委員長>

14については、予算・決算特別委員会は全員で審査する常任委員会として設置してはどうか。

15については、四日市市議会、京都府議会、京都市議会でも実施している。専決事項へ対応できるようにしたい。

16については、質問時間を20分か25分にしたい。傍聴者への時間の配慮も必要と考え、答弁で時間を調整するようにしたい。

17については、兼業禁止や委託業務についても明確にするべき。

18については、議会改革等について有識者にも意見を聞いて実施すればよいと考える。

<堤委員長>

菱田委員外議員から会派に属さない議員の意見をいただきたい。

【会派に属さない議員】(別紙資料 1 19~20)

<菱田議員>

19については、議長と監査委員を除く全議員で常任委員会を設置し、3常任委員会を分科会として審査していきたい。

20については、一事不再議の原則もあり考慮することも必要だが、一年のうち10~11カ月間を会期として、残りの期間を休会にして議会を開催していきたい。これまでと大きく議会の運営方式については変わらないが、従前よりフレキシブルに議会運営ができる。

<藤本副委員長>

休会と説明されたが閉会との関係はどうか。

<菱田議員>

休会と説明したが閉会である。例えば2月5日から1月31日までを一つの会期として、その間は開会している。その間は臨時会を不要として随時会議を開催できる。その中で3月、6月、9月、12月は従来通り本会議にて一般質問を実施する。災害等があった場合も会期中として議会を開催することができることとした。

<堤委員長>

各会派に持ち帰りいただき、意見を取りまとめていただきたい。

<福井委員>

先日、宇治田原町が本会議の議場撮影を許可不要とした。この件は新清流会で提案項目にあげていなかったが追加していただき検討項目としたい。

<堤委員長>

議場での写真撮影許可制の見直しについて活性化の検討項目として追加することとしてよいか。

全員 了

<藤本副委員長>

カメラの持ち込みについては、寝ている議員を撮影したものが拡散する場合もあるので、前期での議論では許可制とした経過がある。

2 会議規則の改正について【別紙 2】

〔局長 説明〕

<堤委員長>

説明のとおり会議規則の改正を取り扱うこととしてよいか。

全員 了

3 環境厚生常任委員会の日程の追加について【別紙 3】
〔局長 説明〕

< 堤委員長 >

説明のとおり日程の追加を取り扱うこととしてよいか。

全員 了

4 その他

(1) 次回の日程について

< 堤委員長 >

次回の議会活性化を検討する議会運営委員会は7月10日(金)午前10時から開催する。

< 湊委員 >

先日の議会報告会の会場で報告会が終わってから、参加者が報告会での質問に対する答弁について議員に詰め寄った。このような場で議員として気をつけていく必要がある。議会として出向いていくのであれば、全体として対処の仕方を考え、共有していくことが必要。

< 堤委員長 >

出席者には色んな考えを持った方がいる。言われるがままで我慢することも大切であるが、その度合いも難しい。

< 石野委員 >

以前、私の住む場所ではない議会報告会の会場に行って特定の議員を攻撃するようなことがあった。

< 堤委員長 >

参加者に議会報告会はどのようなものが趣旨を理解してもらう必要がある。

< 菱田委員 >

先日の議会報告会では議員は正論で返答されていた。

< 藤本副委員長 >

参加者は議員活動と議会活動を一緒に考えてしまっているところがある。

< 湊委員 >

公的な会議の場、例えば委員会で暴言があれば委員長により議事整理をすることができるが、今回の場合はそれ以外の場面であり会議の後で起こった。そのような場合の対処が必要。

< 福井委員 >

自治会を回る議会報告会は、今年一年は実施することとしている。手法については今後検討していきたい。

< 堤委員長 >

今後、広報広聴について新しい企画等があれば議運にも説明いただきたい。

散会 14 : 30